

切除肝細胞癌 (HCC) に対してシスプラチンリピオドール懸濁液 (CDDP/LPD) を使用した経カテーテル的動脈化学塞栓療法 (TACE) の有用性をアドリアマイシンリピオドール混合液 (ADM/LPD) の使用例と比較検討した。対象は1983年6月から1999年12月までに広島大学医学部第一内科で TACE のみ施行された134例で、CDDP/LPD 群108例、ADM/LPD 群26例であった。CDDP/LPD 群の累積生存率は1年81%、3年41%、5年19%、7年13%で、ADM/LPD 群では1年67%、3年18%であり有意差を認めた ( $p < 0.05$ )。CDDP/LPD 群において腫瘍個数が少ない程、LPD の集積が強い程有意に生存率が向上した ( $p < 0.05$ )。CDDP/LPD の平均投与量は 41 mg と低用量で副作用も低頻度であった。低用量 CDDP による TACE は切除不能 HCC に対して有用で、ADM/LPD 使用例と比較して長期生存に貢献していた。

#### 10. Cathepsin D expression and microvessel count as a possible predictor of lymph node metastasis in submucosal colorectal cancer

(大腸 sm 癌におけるカテプシン D 発現および微小血管密度のリンパ節転移予測因子としての有用性)

大江 啓 常 (内科学第一)

一般に大腸 sm 癌は約10%前後にリンパ節転移を認め、EMR による局所切除のみでは根治できない病変が存在する。本研究では、種々の癌で予後因子としての意義が報告されているカテプシン D 発現および微小血管密度 (microvessel count: MVC) の大腸 sm 癌におけるリンパ節転移予測因子としての有用性について検討した。

【対象と方法】外科的切除を施行しリンパ節転移の有無が確認された大腸 sm 癌254例を対象に、カテプシン D 発現および MVC を免疫組織学的に検討した。

【成績】大腸 sm 癌におけるカテプシン D 発現およ

び MVC はいずれもリンパ節転移と有意な関連を示し、多変量解析の結果ではリンパ節転移の独立した危険因子であった。さらに他の病理学的因子と組み合わせることにより、リンパ節転移のない病変の絞り込みが可能であった。

【結論】カテプシン D 発現および MVC の解析は、有用なリンパ節転移予測因子であり、EMR による大腸 sm 癌の局所根治切除後の追加治療の方針決定に応用可能である。

#### 11. Nonselective cation channel as a $Ca^{2+}$ influx pathway in pepsinogen-secreting cells of bullfrog esophagus

(ペプシノーゲン分泌細胞における、非選択的カチオンチャンネルの研究)

木村 誠一郎 (内科学第一)

カエル食道腺ペプシノーゲン分泌細胞において、ホールセルパッチクランプ法を用いて電流の測定を行い、以下の検討を行った。この細胞には、ボンベシンやベサネコール等カルシウムを細胞内セカンド・メッセンジャーとする刺激剤により活性化されるチャンネルが存在する事が明らかになった。このチャンネルは  $Cl^-$  等の陰イオン不透過であり、陽イオンに関しては、非選択性のチャンネルであった。イオン透過比は、 $Cs^+ : Rb^+ : K^+ : Na^+ : Li^+ : NMDG^+ : Ca^{2+} = 1.01 : 1 : 1 : 0.86 : 0.72 : 0.54 : 0.34$  であった。このチャンネルは、カルシウムを通過することが示された。このチャンネルは  $0.1 \mu M$  以上の細胞質内カルシウムにより活性化され、非選択性陽イオンチャンネルブロッカーとして知られている。  $100 \mu M$  ランタン及び  $100 \mu M$  ガドリニウムにより抑制された。また分泌実験にて、ペプシノーゲン分泌が  $100 \mu M$  ガドリニウムにて抑制された事より、このチャンネルは、ペプシノーゲン分泌に関与している事が示唆された。

### 第 4 5 9 回

## 広島大学医学集談会

(平成14年1月4日)

—学位論文抄録—

#### 1. Magnetization transfer measurements of cerebral white matter in patients with myotonic dystrophy

(筋強直性ジストロフィー患者における大脳白質磁化移動測定)

仲 博 満 (内科学第三)

筋強直性ジストロフィー (MyD) 14例において mag-